

# 2009年3月期 第2四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社  
2008年11月6日

# 将来予測・インサイダー取引について

本資料には、当社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来における当社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確実性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- ◆日本、北アメリカ、ヨーロッパおよびトヨタが営業活動を行っているその他の国の自動車市場に影響を与える経済情勢、市場の需要ならびにそれらにおける競争的環境
  - ◆為替相場の変動、特に日本円、米ドル、ユーロ、豪ドル、カナダドルおよびイギリス・ポンドの相場変動
  - ◆経営陣が設定したレベル、またはタイミングどおりに生産効率および向上と設備投資を実施するトヨタの能力
  - ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更で、特に貿易、環境保全、自動車排出ガス、燃費効率、安全性の面などにおいてトヨタの自動車事業に影響を与えるもの、または将来の訴訟やその他の法的手続きを含めたトヨタのその他の営業活動に影響を与える法律、規制及び政府政策の変更など
  - ◆トヨタが営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ
  - ◆タイムリーに新商品を開発し、それらが市場で受け入れられるようにするトヨタの能力
  - ◆トヨタが材料、部品、資材などを調達し、自社製品を製造、流通、販売する主な市場における、燃料供給の不足、交通機能のマヒ、ストライキ、作業の中断、または労働力確保が中断されたり、困難である状況
- 以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書または米国証券取引委員会に提出された年次報告書(フォーム20-F)をご参照ください。

## インサイダー取引に関するご注意:

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。同法施行令により、二以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または、証券取引所に通知かつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびED-NET公開WEBサイト)により掲載された時点をもって「公表」されたものとみなされます。

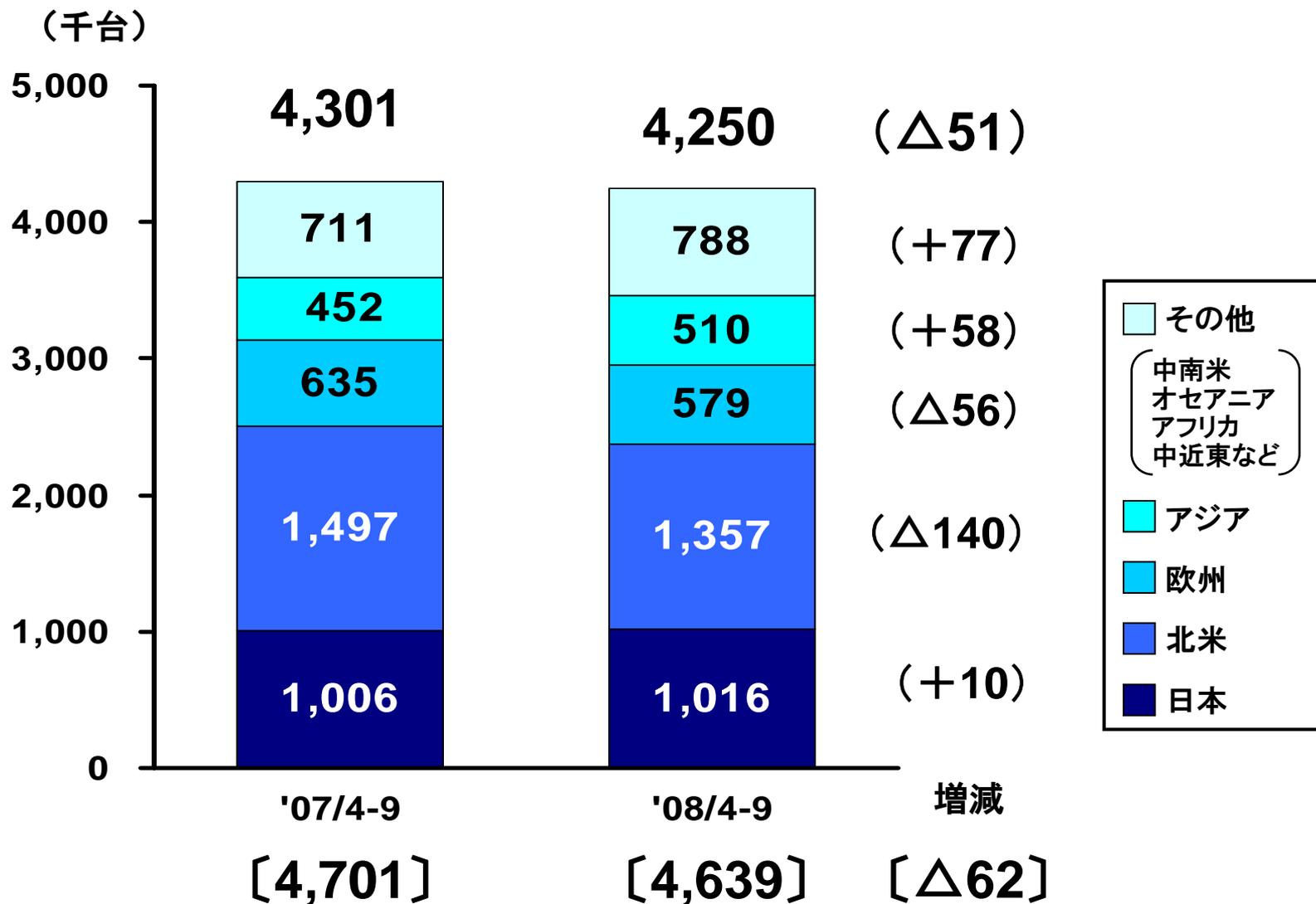
**専務取締役**

**伊地知 隆彦**

**2009年3月期  
第2四半期累計期間  
(2008年4月～9月)**

**【実績】**

# 連結販売台数



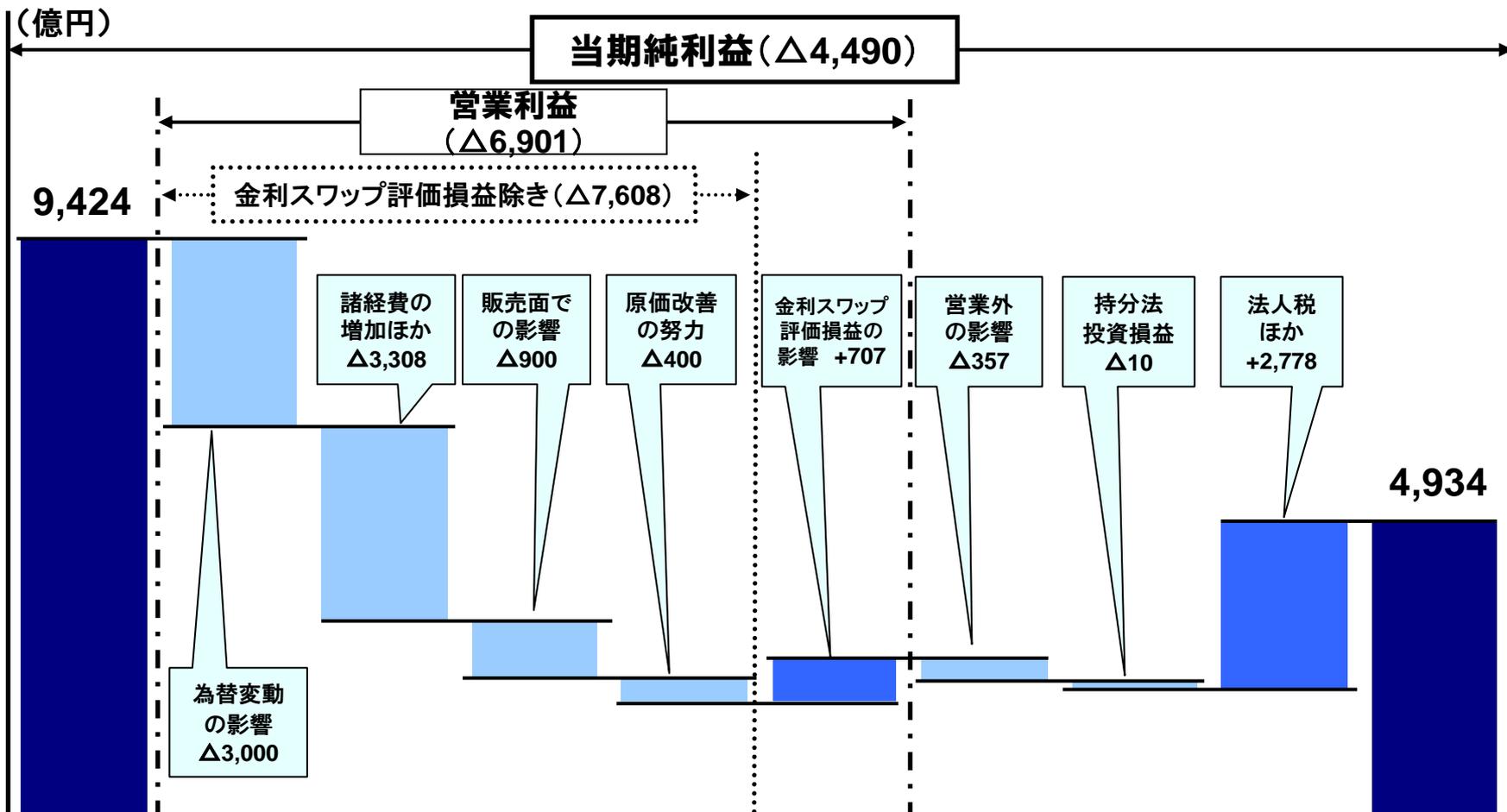
〔 〕は総販売台数 (小売)

# 連結決算要約

(単位:億円)

	当第2四半期 累計期間 ( '08/4-9)	前年同期 ( '07/4-9)	増 減	
売上高	121,904	130,122	△8,218	△ 6.3%
営業利益	5,820	12,721	△6,901	△54.2%
税金等調整前 当期純利益	6,364	13,622	△7,258	△53.3%
当期純利益	4,934	9,424	△4,490	△47.6%
為替レート	ドル 106円 ユーロ 163円	119円 162円	13円の円高 1円の円安	

# 連結当期純利益増減要因



'07/4-9

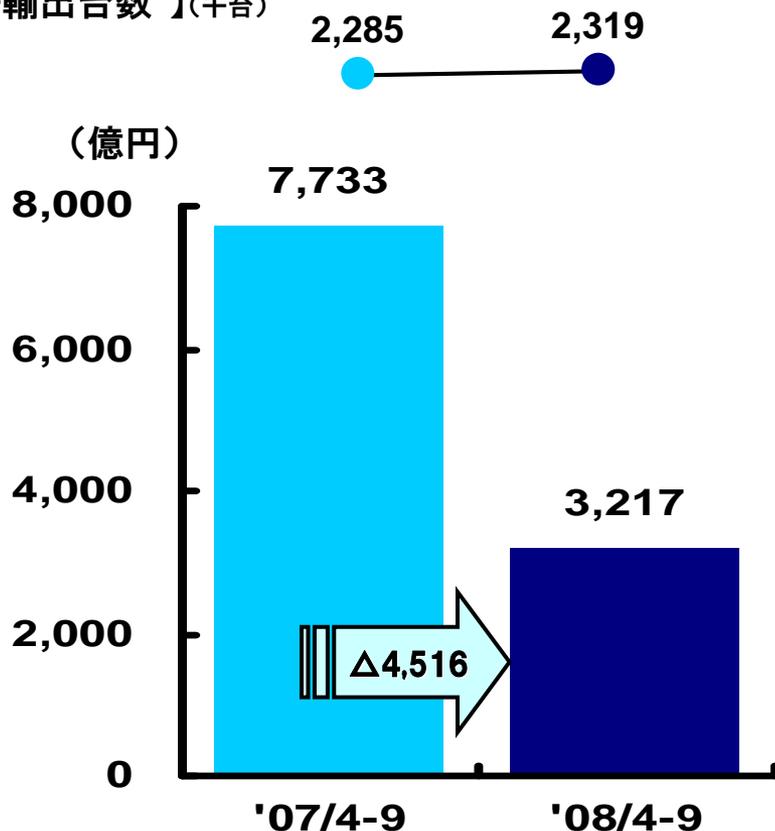
'08/4-9

＜諸経費の増加ほか 内訳＞

労務費の増加	Δ454	減価償却費および設備関連費用	Δ132
研究開発費の増加	Δ314	その他	Δ2,408

# 所在地別営業利益：日本(6ヶ月累計)

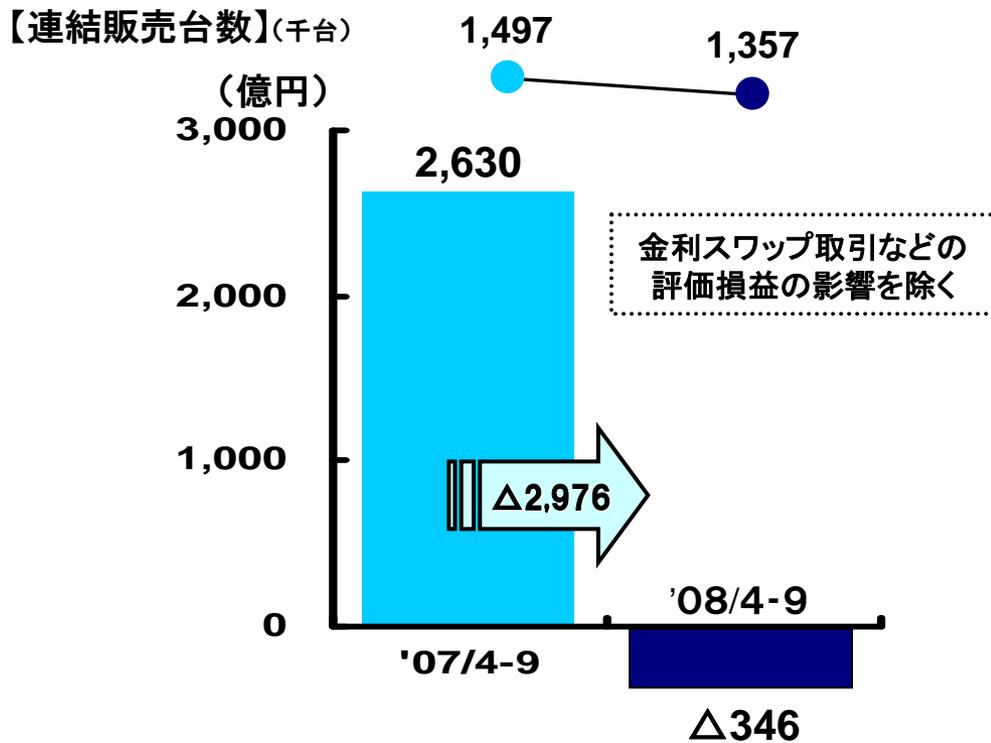
【連結販売台数+輸出台数\*】(千台)



- ・米ドルに対する円高の影響などにより、減益
- ・国内の新型車販売や、ロシア・中近東向け輸出が好調に推移

\* 単独の海外への出荷台数

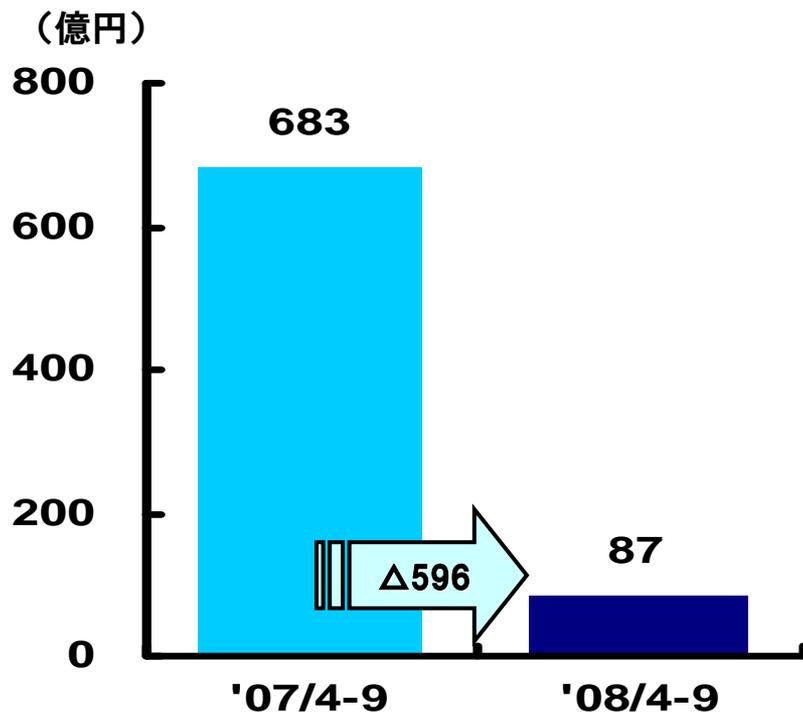
# 所在地別営業利益：北米(6ヶ月累計)



- ・米国市場の減速や、車種構成がコンパクトへシフトしたことなどにより、減益
- ・米国販売シェア：17.0%で、第2四半期累計期間として過去最高

# 所在地別営業利益：欧州(6ヶ月累計)

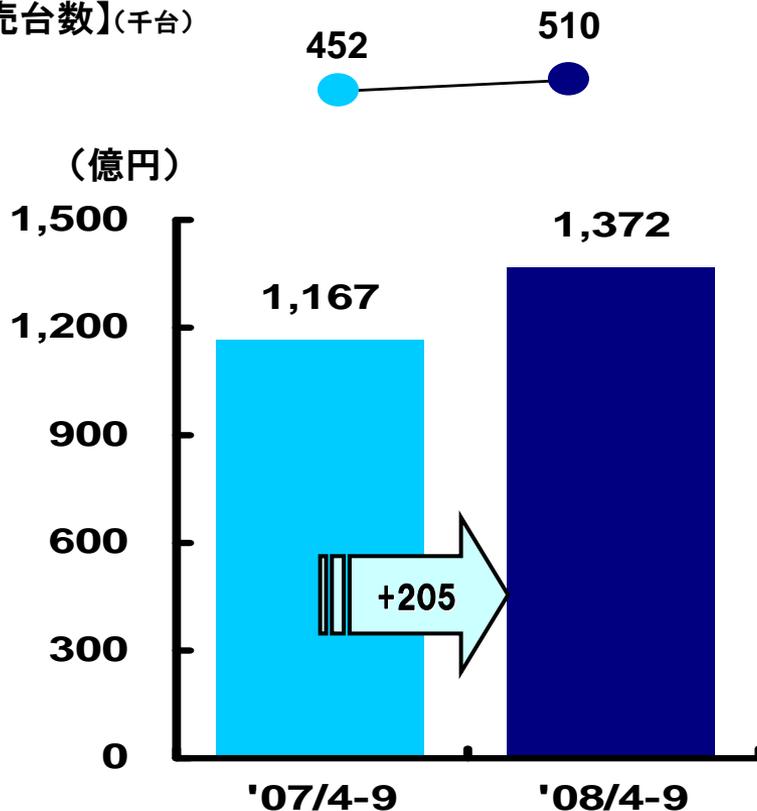
【連結販売台数】(千台)



- ・西欧は市場の低迷により販売台数が減少
- ・ロシアなど東欧では、好調な販売を継続

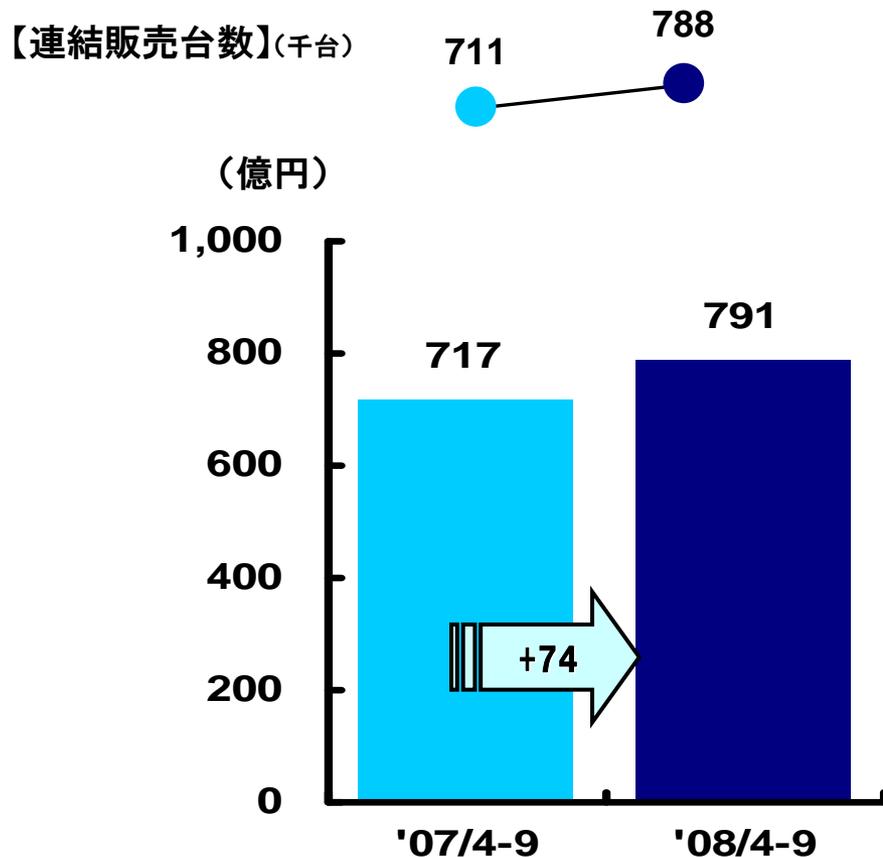
# 所在地別営業利益:アジア(6ヶ月累計)

【連結販売台数】(千台)



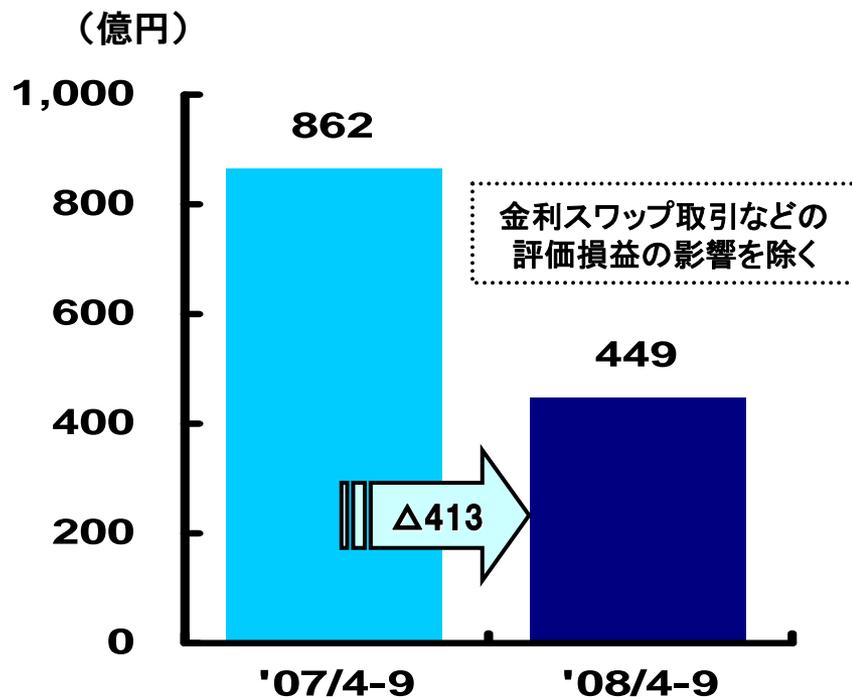
- ・今年初めにフルモデルチェンジを行ったカローラの販売台数が増加
- ・主にインドネシアで、アバンザやイノーバなどの販売が好調に推移

# 所在地別営業利益： 中南米・オセアニア・アフリカ (6ヶ月累計)



・ブラジルの新型カローラの販売台数増などにより、増益

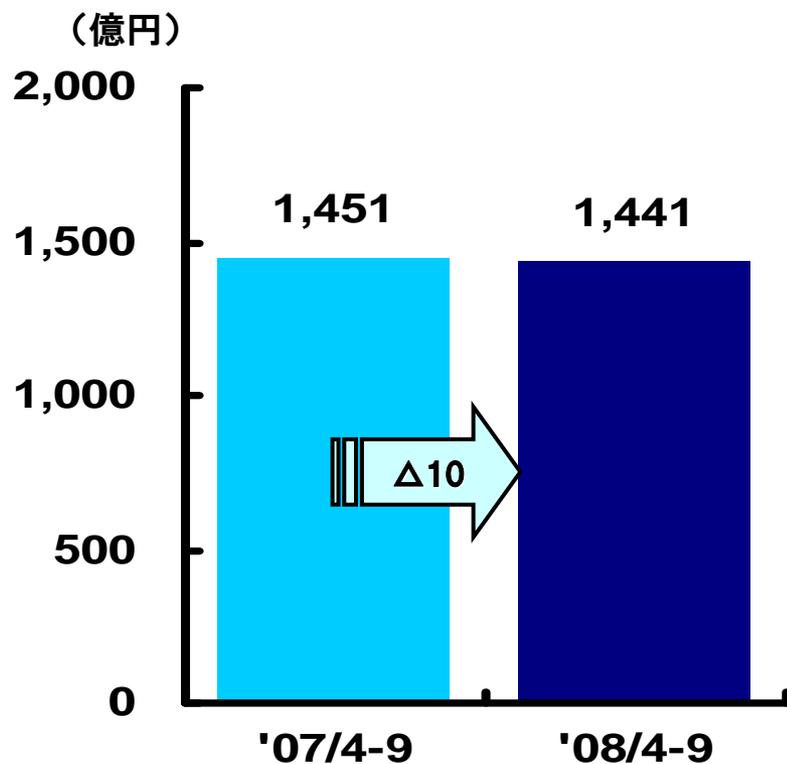
# 事業別セグメント：金融(6ヶ月累計)



金利スワップ取引 などの評価損益	Δ84	623
上記を含む営業利益	778	1,072

- ・貸倒引当金や残価損失引当金を積み増した影響により、減益
- ・融資利鞘は引き続き拡大

# 持分法投資損益(6ヶ月累計)



・持分法投資損益は、ほぼ前年同期並みの収益を確保

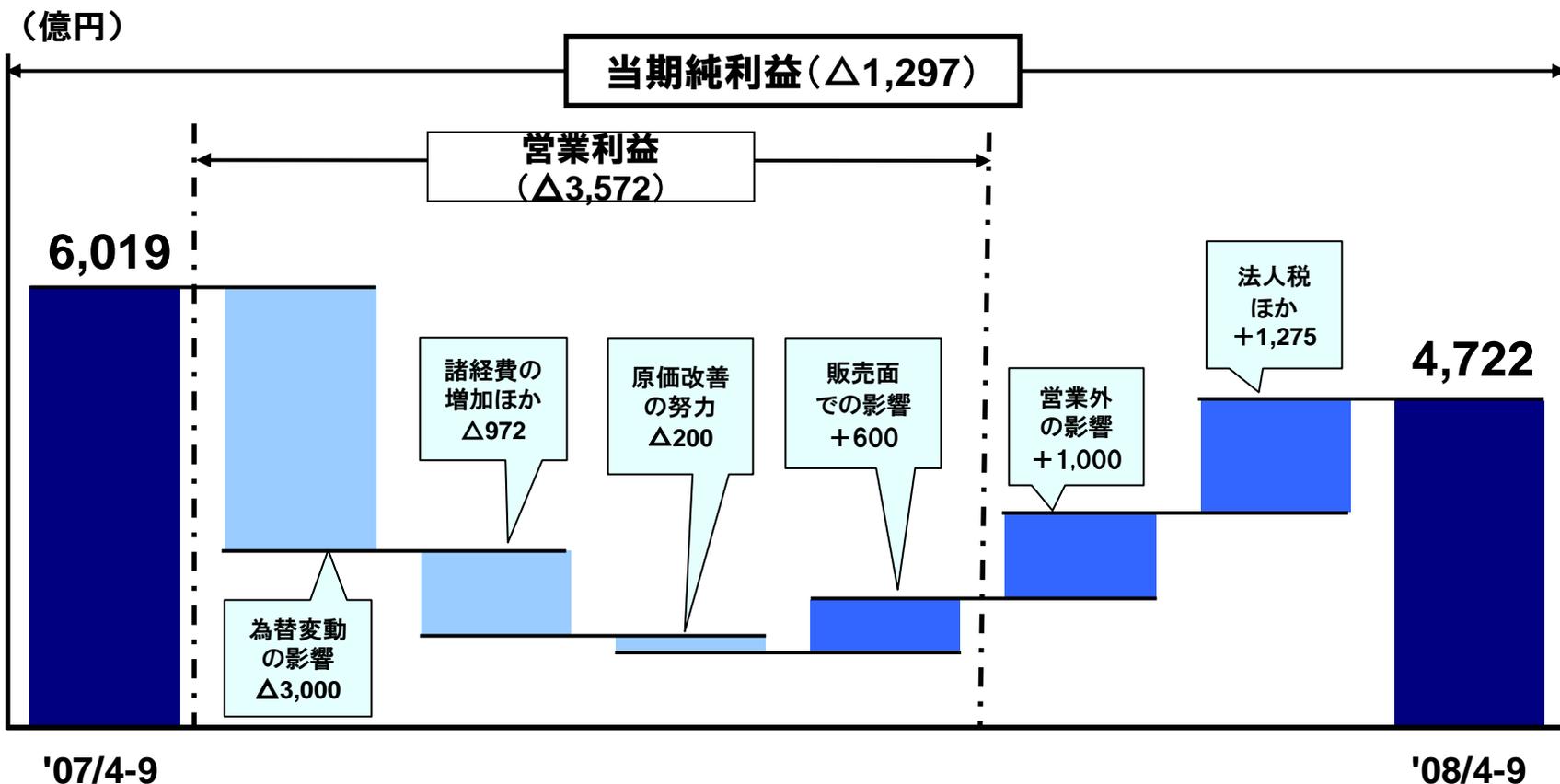
# 单独決算要約(日本基準)

15

(単位:億円)

	当第2四半期 累計期間 ( '08/4-9)	前年同期 ( '07/4-9)	増 減	
売上高	56,492	57,371	△879	△1.5%
営業利益	2,525	6,097	△3,572	△58.6%
経常利益	5,952	8,524	△2,572	△30.2%
当期純利益	4,722	6,019	△1,297	△21.5%

# 単独当期純利益増減要因



＜諸経費の増加ほか 内訳＞

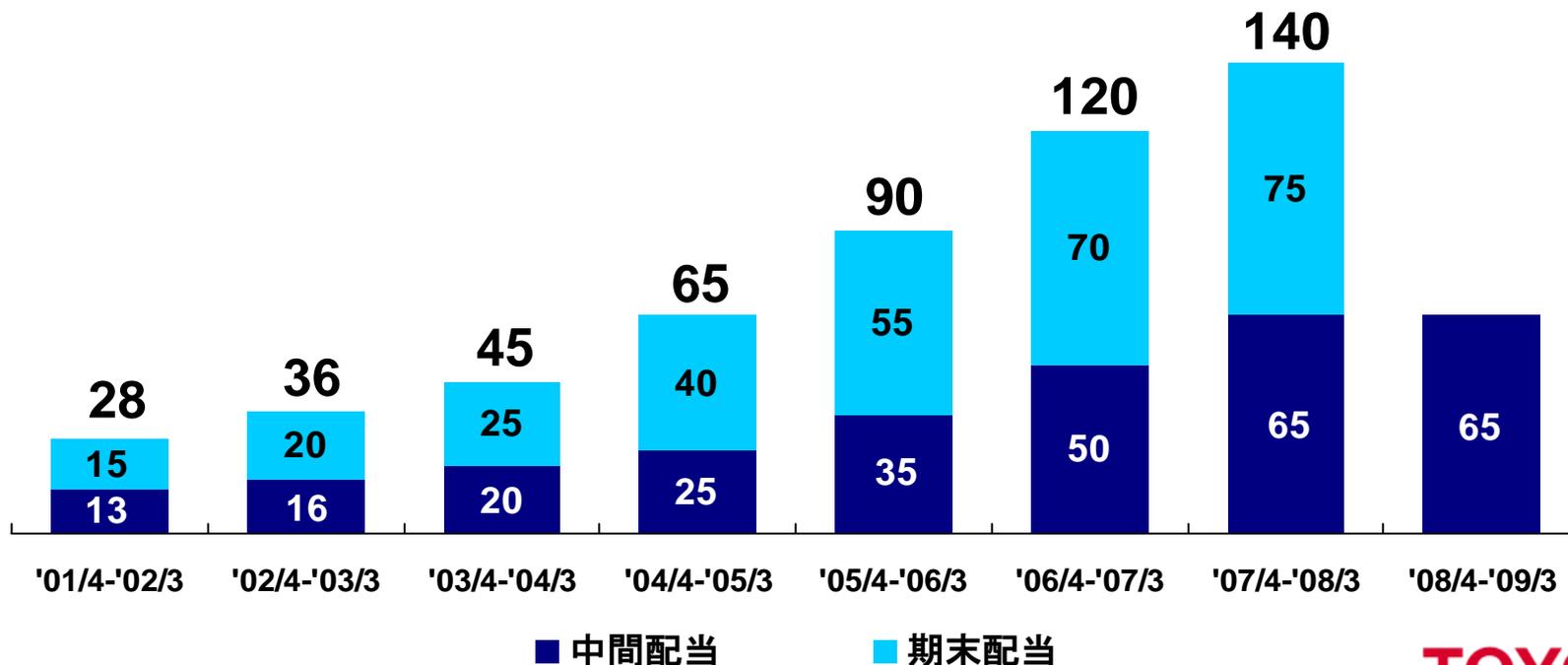
研究開発費の増加	.....	Δ297	その他.....	Δ615
労務費の増加	.....	Δ141		
減価償却費および 設備関連費用	.....	+ 81		

# 株主還元(中間配当)

## 中間配当：1株につき65円

中間配当総額： 2,037億円

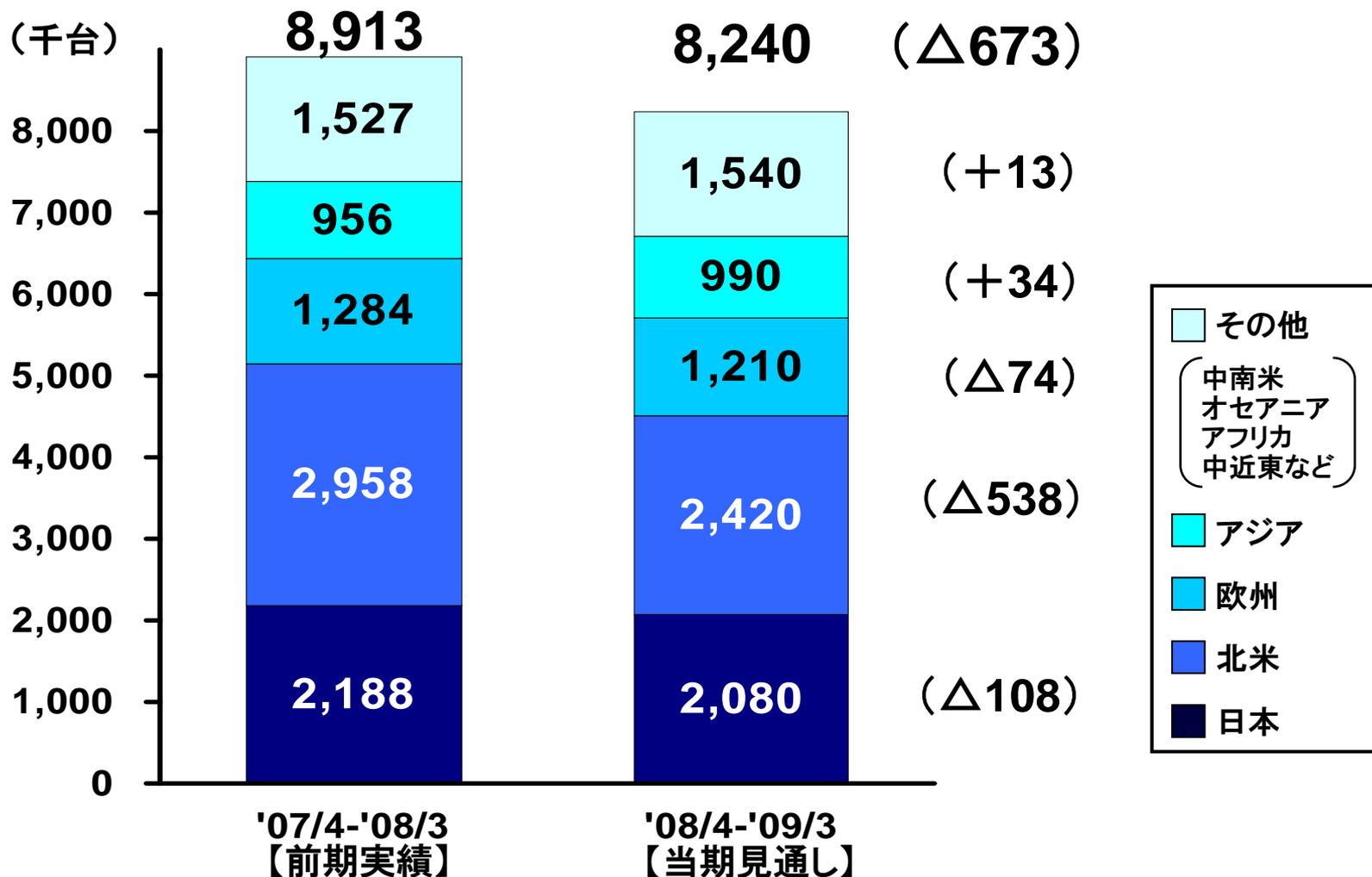
連結中間配当性向： 41.4% (前期比+19.4%)



**2009年3月期**

**【通期見通し】**

# 通期見通し: 連結販売台数



# 通期見通し: 連結決算

20

(単位: 億円)

	当期見通し ( '08/4-'09/3 )	前期実績 ( '07/4-'08/3 )	増 減	
売上高	230,000	262,892	△32,892	△12.5%
営業利益	6,000	22,703	△16,703	△73.6%
税金等調整前 当期純利益	6,400	24,372	△17,972	△73.7%
当期純利益	5,500	17,178	△11,678	△68.0%
為替レート	ドル	103円*	114円	11円の円高
	ユーロ	146円*	162円	16円の円高

\*後半期の前提為替レート: ドル = 100円、ユーロ = 130円

**TOYOTA**

# 当期見通し増減要因(連結決算)

(単位:億円)

	営業利益
前期実績 ('07/4~'08/3)	22,703
為替変動の影響	△6,900
販売面での影響	△6,100
原価改善の努力	△600
諸経費の増加ほか	△3,103
合計	△16,703
当期見通し ('08/4~'09/3)	6,000

# 通期見通し：設備投資、減価償却費、研究開発費

22

(単位：億円)

	設備投資	減価償却費	研究開発費
連結計	14,000 (Δ802)	11,000 (+576)	9,200 (Δ388)
日本	8,200 (Δ431)	6,900 (+769)	
北米	3,200 (Δ143)	2,100 (+65)	
欧州	1,400 (+241)	1,000 (Δ10)	
アジア	600 (Δ484)	600 (Δ212)	
その他	600 (+15)	400 (Δ36)	

( )内は'07/4-'08/3実績からの増減

# 通期見通し: 単独決算

23

(単位: 億円)

	当期見通し ( '08/4-'09/3 )	前期実績 ( '07/4-'08/3 )	増 減	
売上高	106,000	120,792	△14,792	△12.2%
営業利益	1,400	11,086	△9,686	△87.4%
経常利益	6,000	15,806	△9,806	△62.0%
当期純利益	5,100	11,381	△6,281	△55.2%

# 通期見通し：台数等(トヨタ・レクサス)

		当期見通し ( '08/4-'09/3 )	前期実績 ( '07/4-'08/3 )
生産	国内	3,850 千台	4,264 千台
	海外	4,070	4,424
	合計	7,920	8,688
国内販売		1,470	1,595
輸出		2,450	2,708
海外現地販売		6,580	6,923
住宅		4,800 戸	4,622 戸

## 1. '09/3期・'10/3期の収益確保<短期対応>

(⇒総費用低減と売上最大化)

『緊急収益改善委員会』を新設し、  
活動を展開中

## 2. 新規プロジェクトの実施時期・規模の見直しなど 生産の構えを総点検

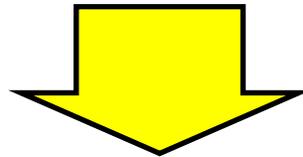
## 1. 緊急事態への対応

## 2. 中長期の成長戦略

(1) ハイブリッド車戦略を加速

(2) コンパクト車の原価低減

## 3. 強固な財務基盤



足許の市場環境の変化に適切に対処すると共に、  
将来の成長に向けた取り組みを推進

# 2009年3月期 第2四半期 決算説明会



トヨタ自動車株式会社  
2008年11月6日